

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 （北上地方農林業振興協議会）

執筆担当 中部農業改良普及センター 今野 彩香

北上地方農林業振興協議会では、花巻市農業振興対策本部および中部農業改良普及センターと共催で、12月11日に「令和7年度経営力向上に向けた研修会」を開催しました。

本研修会は、幅広い人材の確保や経営の安定化のため、法人化を志向する生産者等が法人化に関する理解を深め、経営力向上に繋げることを目的としたもので、生産者12名および関係機関17名が参加しました。

はじめに、中小企業診断士の土岐徹朗氏から、農業経営の法人化の意義や個人経営との違い、留意点等について講演をいただきました。

続いて、管内での法人化事例として、令和6年3月に法人化した株式会社アンビシャスファーム代表取締役の佐藤孝志氏から、法人化の経緯や過程、経営者としての心構え、今後の展望等について事例報告をいただきました。

参加した生産者からは、「法人化についての理解が深まった」、「法人化する際のポイントやメリット・デメリットが参考になった」といった感想のほか「法人化に関する手続きの詳細や労働力の確保についてさらに知りたい」といった継続的に研修機会を希望する意見も寄せられるなど、学びの多い研修会となりました。

当協議会では、今後もさらなるステップアップを目指す生産者の経営発展を支援していきます。



研修会の様子



株式会社アンビシャスファーム
佐藤孝志氏からの事例報告の様子